

チャバネアオカメムシの発生状況（第10報）

令和8（2026）年7月23日

河内農業振興事務所

1 河内管内のフェロモントラップ誘殺状況について

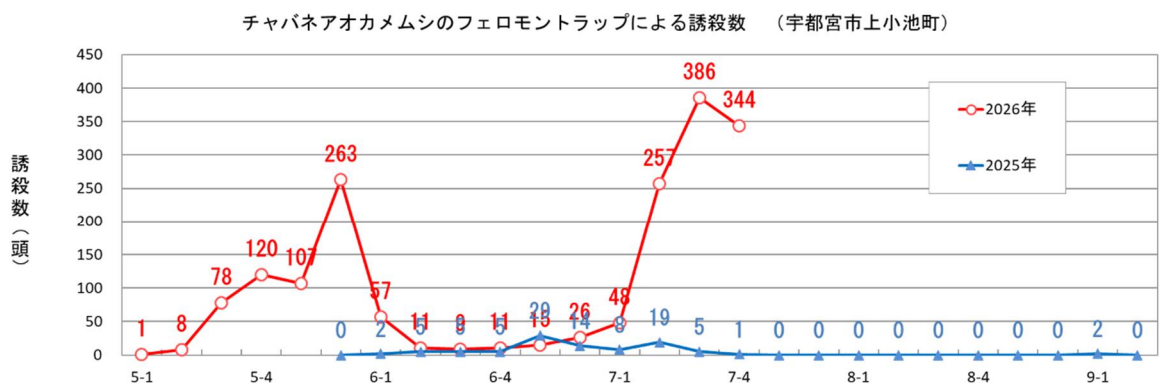
上小池町の誘殺数は引き続き多い状況です。瓦谷町は7月第2半旬に比べ急増しており、瓦谷町、古賀志町とも平年より多くなっています（表1）。蒸し暑い日の日没時に活動が活発となるため、園内外（特に周縁部）を観察し、飛来を確認した場合には薬剤防除を行いましょう。

なお、県内の病虫害発生予察情報については、県農業総合研究センターホームページ（<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>）で随時公開中です。また、栃木県防災LINEでも情報提供を行っています。

表1 チャバネアオカメムシの誘殺頭数（河内管内）

調査地点 調査時期	上小池町※1		瓦谷町※2			古賀志町※2		
	R 8	R 7	R 8	R 7	平年	R 8	R 7	平年
7月第2半旬	257	19	146	1	102	236	0	80
7月第3半旬	386	5	400	0	77	184	0	61
7月第4半旬	344 ↗	1	569 ↗	1	67	149 ↗	0	77

※1 河内農業振興事務所独自調査 ※2 県農業総合研究センター調べ ※3 矢印は平年比較



月 - 半旬 ※2025年の調査は5月第6半旬から調査開始

2 県内設置のフェロモントラップ誘殺状況について

県内各地の誘殺状況は表2のとおりで、芳賀町は多い誘殺数で横ばいとなっています。また、那須烏山市は引続き増加しており、県内で最も多い誘殺数となっています。

表2 チャバネアオカメムシ誘殺頭数（河内管内以外） ※矢印は平年比較

調査地点 調査時期	芳賀町		那須烏山市		矢板市		佐野市	
	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年
7月第2半旬	393	33	2,371	42	23	16	45	40
7月第3半旬	381	36	3,193	40	19	10	35	32
7月第4半旬	373 ↗	22	3,741 ↗	38	16 ↗	9	29 ↘	30

県農業総合研究センター
発生予察情報



栃木県防災 LINE
(LINEID: @756bxcgu)

